

2018全日本ジュニア体操競技選手権大会 ～東西決勝大会要項～

2018年4月現在

主催 (一社)全日本ジュニア体操クラブ連盟 (公財)日本体操協会
 主管 神奈川県体操協会 横浜市体操協会
 後援 スポーツ庁 (公財)日本オリンピック委員会 横浜市 (公財)横浜市体育協会 朝日新聞社
 協賛 (株)ササキスポーツ セノー(株) コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株) リコージャパン(株)

1. 期 日 平成30年8月12日(日) 決勝大会リーダー会議及び審判会議 決勝大会開会式
 女子C/Bクラス、男子Bクラス決勝大会
 13日(月) 男女Aクラス決勝大会 決勝大会表彰式
2. 大会会場 〒231-0032 神奈川県横浜市中区不老町2-7 横浜文化体育館 ☎045-641-5741

3. 参加資格

区 分	男 子	女 子
年 会 費	平成30年度の年会費を完納したクラブ	
登 録	当連盟に30年度の登録を済ませた者	
Aクラス決勝	2018東西ジュニア出場者の上位各30名	2018東西ジュニア出場者の上位各30名
Bクラス決勝	2018東西ジュニア出場者の上位各30名	2018東西ジュニア出場者の上位各15名
Cクラス決勝		2018東西ジュニア出場者の上位各15名

4. 適用規則及び競技方法

※すべてに於いて「FIG競技規則」に準ずる

区 分	男 子	女 子
Aクラス決勝	①自由演技(2013年度版中学校適用規則)を適用し、個人総合・種目別を決定する。 ②花丸ルール適用 ③禁止技は高等学校適用規則に準ずる。	①ジュニア連盟女子Aクラス採点規則(2017年版変更規則)を適用し、個人総合・種目別を決定する。 ②ハナマル判断基準適用(*)
Bクラス決勝	①男子ジュニア規定演技[レベル3]を採用し、個人総合・種目別を決定する。 ②あん馬は「あん馬2」を採用 ③花丸ルール適用	①ジュニア連盟女子Bクラス採点規則(2017年版変更規則)の一部変更して適用し、個人総合・種目別を決定する。 ②ハナマル判断基準適用(*)
Cクラス決勝		①ジュニア連盟女子Cクラス規定演技を採用し、個人総合・種目別を決定する。 ジュニア連盟Cクラス採点規則を適用する。 ②ハナマル判断基準適用(*)

(*)ハナマル判断基準参照

◆A/BクラスE得点8.5以上の演技に対してハナマルを与える。

Bクラス跳馬は最終得点が9.3以上とする。

(2跳躍のうちどちらか1跳躍でも良い)

◆Cクラスは東西と同様のハナマル判断基準を適用する。

5. 器具基準 別添資料参照のこと。

6. 着地マットの使用について 別添資料参照のこと。

7. 表 彰 個人総合種目別とも 1～3位/メダル・賞状及び副賞
 4～6位/賞状及び副賞

(※女子E得点賞は東西大会のみ)

8. 申込締切 東西ジュニア選手権大会終了後、出場資格者名簿が大会会場にて発表され、参加団体に参加申込書が配布される。
 参加団体の責任者は申込書に必要事項を明記し、参加料を添えて同会場にて申し込むこと。以後は受け付けない。

9. 抽 選 平成30年7月3日(火)18:30より行い演技順を決定する。
 選手権大会の試技順一覧は抽選結果を入力、確認後参加クラブに郵送される。

◆演技順について

【男子A/Bクラス】東西ジュニア予選大会の1位～15位はⅡ班、16位～30位はⅠ班とする。

【女子Aクラス】東西ジュニア予選大会の1位～15位はⅡ班、16位～30位はⅠ班とする。

【女子C/Bクラス】東西ジュニア予選大会(各15名)合計30名、各々のクラスでⅠ班とする。

※演技順は抽選される。抽選結果は、東西ジュニア選手権大会終了後、各決勝大会エントリーの際に参加申込書とともに配布する。

10. 参 加 料 1名につき 10,000円

11. そ の 他 (1)参加料はその理由の如何を問わず返金しない。
 (2)大会期間中に発生した傷害については、その責任をスポーツ傷害保険の範囲内とする。
 (3)参加選手のゼッケンはIDカードと共に受付にて配布される。

「個人情報保護について」

本大会にて収集する個人情報は、本法人の個人情報保護宣言を遵守します。
 収集した個人情報は、本大会の運営に必要となる参加者の確認と参加クラブとの連絡、大会プログラム(選手名・クラブ名・学年・クラブ連絡先)及び本法人ホームページ(大会結果)に使用し、それ以外の目的には使用しません。

「大会写真の取り扱いについて」

大会期間中に撮影された写真は、当連盟ホームページ、大会ポスター、プログラム及び大会報告書、広報誌等に掲載されることがあります。ご了承ください。

JOCジュニアオリンピックカップ 2018全日本ジュニア体操競技選手権大会 ～選手権大会要項～

主催 (一社)全日本ジュニア体操クラブ連盟 (公財)日本体操協会
 主管 神奈川県体操協会 横浜市体操協会
 後援 スポーツ庁(公財)日本オリンピック委員会 横浜市(公財)横浜市体育協会
 朝日新聞社
 協賛 (株)ササキスポーツ セノー(株) コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)
 リコージャパン(株)

1. 期 日 平成30年8月13日(月) 2部リーダー会議及び審判会議 開始式
 2部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)1日目
 14日(火) 2部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)2日目
 15日(水) 2部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)3日目
 2部表彰式 1部リーダー会議及び審判会議
 1部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)1日目
 16日(木) 1部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)2日目
 17日(金) 1部競技(団体総合兼個人総合及び種目別)3日目
 1部表彰式 閉会式

2. 大会会場 〒231-0032 神奈川県横浜市中区不老町2-7 横浜文化体育館 ☎045-641-5741

3. 参加資格

区分	男子	女子
年会費	平成30年度の年会費を完納したクラブ	
登録	当連盟に30年度の登録を済ませた者	
選手権1部	①中学2年生から高校3年生 (平成12年4月2日～平成17年4月1日までの間に生まれた者) ②前年度上位4チーム、チーム内選手を含む個人シード 24位は最終日最終班、前年度上位5位～8位チームは 最終日前日の最終班、但し参加人数によって最終日朝 一班とする。 ③1クラブ最大出場6名(チーム4名/ベスト3+個2) ④補欠は最大2名 ※個人はチーム補欠と兼ねても良い。 ※正選手6名(チーム4名/個人2名)、補欠2名 をエントリーした場合、補欠はあくまでも補欠 であり、チーム或いは個人との入れ替えのみ できる。 ※チーム、並びに個人選手の最終決定は、前日 公式練習終了後10分以内に書面にて 事務局に提出すること。変更がない場合 は提出不要、したがって時間内に提出がな い場合の変更は認めない。 ⑤個人出場の際は1クラブにつき最大2名	①小学6年生から高校3年生 (平成12年4月2日～平成19年4月1日までの間に生まれた者) ※小学6年生の出場選手については、全日本選手権大会の団体及び個人総合 出場年齢下限が平成17年12月31日生までとなっているため、早生まれの選手 は対象外となる。 したがって成績が通過圏内であっても予選通過にはならず、全日本ジュニア大 会の成績のみとなる。 ②前年度上位4チームは最終日の最終班、また、前年度 上位5～8位チームは最終日朝I班とする。個人シード 選手12名は、上位6名は最終班、残りの選手につ いては朝I班とする。シード選手の数が12名に満たない 時は、フリー抽選とする。 ③1クラブ最大出場6名(チーム6名/ベスト5) ④チーム補欠は最大2名(チームとの入れ替えのみ可、ただし、 個人シード選手(優秀選手)はこの限りではない。) ⑤本連盟推薦の個人シード選手12名(個人出場可) ⑥個人出場の際は1クラブにつき最大4名 ⑦全日本選手権予選も兼ねているため、 (跳馬を除く3種目)同時出場可 ※チーム又は個人いずれかの参加が許される。
選手権2部	①中学1年生から高校3年生 (平成12年4月2日～平成18年4月1日までの間に生まれた者) ②1クラブ最大出場4名(チーム4/ベスト3) ③チーム補欠は最大2名(チームとの入れ替えのみ可) ④個人出場の際は1クラブにつき最大2名 ⑤選手権1部との重複出場はできない。 ⑥前年度1部の出場者であっても出場できる。 ※チーム又は個人いずれかの参加が許される。 1クラブにつき1・2部の大会で最大10名の 参加が認められる。	①中学3年生から高校3年生 (平成12年4月2日～平成16年4月1日までの間に生まれた者) ②1クラブ最大出場5名(チーム5/ベスト4) ③チーム補欠は最大2名(チームとの入れ替えのみ可) ④個人出場の際は1クラブにつき最大3名 ⑤選手権1部との重複出場はできない。 ⑥前年度1部の出場者であっても出場できる。 ※チーム又は個人いずれかの参加が許される。 1クラブにつき1・2部の大会で最大6名の 参加が認められる。
参加枠	1クラブにつき1・2部の大会で最大10名の参加が認められる。	
その他	①医師または保護者の承諾を得ること。 ②団体及び個人選手の資格はその範囲とする。 ③本年度東西ジュニア選手権に出場した者は出場できない。	

4. 適用規則及び競技方法

2018年4月現在
 ※すべてに於いて「FIG競技規則」を適用する

区分	男子	女子
選手権1部	2017年版採点規則を適用する。(最新号を適用) (団体総合兼個人総合及び種目別)	2017年版採点規則を適用する。(最新号を適用) (団体総合兼個人総合及び種目別)
選手権2部	高体連採用の採点規則(一部変更ルール)を適用する。(団体総合兼個人総合及び種目別) (10技→8技)	2017年版採点規則変更規則Iを適用する。 (団体総合兼個人総合及び種目別)

5. 選手権2部前日練習について

参加人数の増加に伴い、男女選手権2部の前日練習をなくすこととする。

6. 全日本選手権への出場資格について (資料後日送付)

(公財)日本体操協会からの通達により男女とも次の枠内で全日本選手権への資格が与えられる。

7. 器具基準

別添資料参照のこと。

8. 表彰

団体総合/個人総合/種目別各々1～3位/メダル・賞状及び副賞、4～6位/賞状及び副賞

9. 申込締切

申込書(統括表と個人申込書の両方)に必要な事項を記入し、参加料を添えて6月20日(水)必着で現金書留にて送付のこと。※締切日以後は受け付けない。

(宛先)〒103-0027 東京都中央区日本橋1-16-6 久富ビル4階

(一社)全日本ジュニア体操クラブ連盟

10. 抽選

平成30年7月3日(火)18:30より抽選会を行い演技順を決定する。

*抽選会に参加を希望するクラブは申込締切日までに事務局へ申し出ること。

【※抽選結果は7月6日(金)までに発送予定、それ以前の電話等による問い合わせは不可とする】

11. 参加料

区分	男子	女子
団体出場	1部	1団体 40,000円
	2部	1団体 40,000円
個人出場	1名あたり10,000円	

12. 帯同審判

(1)選手権(1部・2部)団体出場クラブは1種の帯同審判を派遣すること。ただし、女子競技は女性に限る。

※帯同審判員は必ず(公財)日本体操協会Web登録を完了している者に限る。

(2)帯同審判を派遣できないクラブは審判委託費(1部・2部/70,000円)を納入のこと。

(3)【女子】帯同審判員が多い場合、D2審判員は選出し、それ以外はアシスタントを含むフリー抽選とする。

④【男子】男子帯同審判員は審判本部により審判編成される。

13. その他

(1)参加料はその理由の如何を問わず返金しない。

(2)チームには最大2名までのコーチをつけることができる。(男性・女性のいずれでも可)

(3)大会期間中に発生した傷害についてはその責任をスポーツ傷害保険の範囲内とする。

(4)宿泊については宿泊要項にて希望者のみ申し込むこと。(先着順)

(5)申込書が不足の場合は各自コピーをして使用すること。

(6)参加選手のゼッケンは事前に送付される。

(7)参加者数の増減により日程に変更が生じる場合がある。

(8)女子ゆかの伴奏音楽は音楽CDのみとする。(使用する1曲のみ)

「個人情報保護について」

本大会にて収集する個人情報は、本法人の個人情報保護宣言を遵守します。

収集した個人情報は、本大会の運営に必要な参加者の確認と参加クラブとの連絡、大会プログラム(選手名・クラブ名・学年・クラブ連絡先)及び本法人ホームページ(大会結果)に使用し、それ以外の目的には使用しません。

「大会写真の取り扱いについて」

大会期間中に撮影された写真は、当連盟ホームページ、大会ポスター、プログラム及び大会報告書、広報誌等に掲載されることがあります。ご了承ください。

ハナマル判断基準(2017年～)

◎東西大会ABCクラス、決勝大会Cクラス

※下記項目が各審判員がつけるハナマル決定の判断目安となります。

*但し、演技に対する加点はありません。

種 目	項 目
跳 馬	<ul style="list-style-type: none"> ◆助走を含む、スピードのある跳躍 ◆正確な踏み切り姿勢 ◆高さのある跳躍 ◆高い姿勢の安定した着地
段 違 い	<ul style="list-style-type: none"> ◆美しい体線での演技 ◆姿勢欠点のない振り上げ倒立 ◆全体を通して振幅の大きな演技 ◆終末技の着地姿勢が高く安定している
平 均 台	<ul style="list-style-type: none"> ◆演技に相応した質の高い柔軟性 ◆全体を通して、リズムやテンポの良い演技 ◆ふらつきのない安定した演技 ◆終末技の着地姿勢が高く安定している
ゆ か	<ul style="list-style-type: none"> ◆アクロバット系シリーズの高さ・スピードのある演技 ◆演技に相応した質の高い柔軟性 ◆全体を通して印象の良い演技 ◆着地姿勢が高く安定している

◎決勝大会ABクラス

A・Bクラス共にEスコアが8.5以上の演技に対してハナマルを与える。

Bクラス跳馬のみEスコアの最終得点が9.3以上とする。

(2跳躍のうちどちらか1跳躍でも良い)